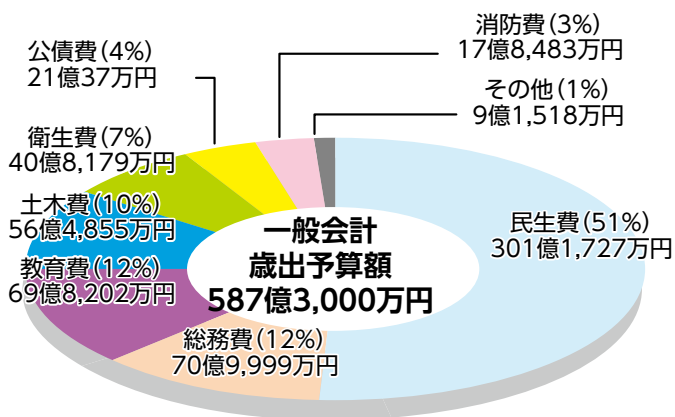


令和5年度 予算を可決

令和5年度の多摩市の予算(1年間の収入とお金の使い方)について、予算決算特別委員会(議長を除く全員で構成)で審査を行い、一般会計、3特別会計、下水道事業会計の予算案を原案のとおり可決すべきものとなりました。

令和5年度 歳出款別 予算額



令和5年度 一般会計・特別会計 予算額(前年度比増減)

一般会計	予算額	前年度比増減
一般会計	587億3,000万円	(▲6.9%)
特別会計		
国民健康保険	154億3,205万円	(0.3%)
介護保険	124億1,060万円	(5.3%)
後期高齢者医療	46億907万円	(6.4%)
合計	911億8,171万円	(▲3.6%)

令和5年度 下水道事業会計 予算額(前年度比増減)

	収入	支出
収益的収支	34億3,047万円 (1.8%)	31億710万円 (0.8%)
資本的収支	1億4,092万円 (17.3%)	4億2,512万円 (11.9%)

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

予算審査ではこんな話題や意見がありました…

子ども被爆地派遣事業 歴代派遣員参加継続を!

戦争を体験していない世代として、今年も現役(小・中学生)派遣員6人と歴代派遣員2人の計8人が作文などで選考されて、市長とともに長崎の平和式典に出席・資料館の見学・派遣報告会に参加します。

現役派遣員が今後も歴代派遣員として参加継続できるように、50周年事業として一過性で終わらず、次世代へ継承してほしい。

(総務費 平和啓発事業)

手話・要約筆記講習会事業のレベルアップを!

聴覚障がい者の国際スポーツ大会であるデフリンピックが2025年に東京で開催されることが決まりました。

今後多摩市では手話言語条例の制定にも取り組んでいく中、手話講習会の会場確保へのさらなる配慮や再受講枠の確保も必要ではないか。

また、高齢者の情報保障のためにも、要約筆記者の個人派遣サービスが受けられるような制度を作るべきではないか。

(民生費 地域生活支援事業)

市民の生命を守るワクチン接種の取組み

子宮頸がんワクチン接種について、定期予防接種に加えられる予定の9価HPVワクチン接種への早い体制づくりを望みます。また、男性への接種がなかなか進んでいない点についても取り組んでいただきたい。ワクチンさえあれば助かった命をしっかりと救っていく、市民の生命、財産を守る責任として、しっかり対応していただきたい。

(衛生費 予防接種事業)

消防活動の充実ヘジェットシューター導入

ジェットシューター(背負式散水装置)を各分団に1台ずつ配備することになった経緯や仕様について質問し、導入後の使用訓練の充実を求めました。

また災害時の無線使用に関する質問もありました。指示システムの課題や通信範囲、通信機器の見直しが必要です。

(消防費 消防団運営経費)

子どもたちがのびのびと部活動を行える環境を

昨年の提言を受けて部活動の地域移行・地域連携が段階的に始まります。これまで部活動を支えてきた指導員・補助員の不利益とならないよう慎重に対応してほしいという要望がありました。また部活動での体罰が問題となっていることから研修が必要であるという指摘がありました。

(教育費 部活動補助事業)

